

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月12日

事業所名 放課後等デイサービスさぼてん

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者の興味関心や持っている能力に応じて、プレールーム・居室・別棟の部屋・中庭スペース・屋外グラウンドを使用しています。また、近隣の施設(公園・体育館等)を活用することもあります。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			支援の質と安全性を考慮し、職員の人数を基準より多く配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関にはスロープを設置し、フロア・居室・廊下の間に段差がない設計にしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			活動記録や個別支援計画を基に活動内容をしっかり振り返り、課題や手立てを見直しています。また、非常勤職員を含めて、毎日のミーティングや定期的開催している職員会議で情報を共有しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年、参考にさせて頂いております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎週金曜日の午前中に学習会を開催し、オンライン研修やDVD資料・書籍を活用しながら積極的に学んでいます。また、年3回、臨床心理士に来ていただき、事例研究を行っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			応用行動分析を基に子どもの行動の背景を分析し、望ましい行動や事前の対応の工夫、配慮事項を検討しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			新版K式発達検査やWISC等の検査資料を参考にしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラム(活動指導案)を担当職員で分担・立案し、週1回チームで検討しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子ども達が興味を持ち積極的に取り組む事ができるよう工夫して毎日多彩な活動プログラム(活動指導案)を作成しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は、活動プログラム(活動指導案)を作成し、子どもたちの発達支援に向けた取り組みを行っています。土曜日は、月2回開所し、交通機関の利用や買い物体験、講師を招いての和太鼓教室を開催しています。3月には、保護者や学校の先生方を招いて和太鼓発表会を開催しました。長期休暇は、外出体験を多くしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画を基に、個人の発達課題に応じて自立課題を設定しています。集団活動の取り組みでは、友だち関係の広がりやコミュニケーション能力の向上を大切にしたり取り組みを行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、ミーティングを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日、活動の振り返りの話し合いを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、行動記録をとり定期的に子どもの様子を振り返っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			5領域に基づいて、活動プログラム(活動指導案)を作成し、ねらいや手立てが適切かを検証して取り組んでいます。

20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達管理責任者が出席しています。
----	--	---	--	--------------------

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校迎えの際だけでなく、必要に応じて教育相談担当や担任との電話でのやりとりを丁寧に行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援事業所とは、保護者の了解のもと引継ぎ以外にも必要に応じて情報共有しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		臨床心理士を招き、事例を挙げてのコンサルテーションを定期的に行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○	○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者との日頃の情報共有を大切にしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談や電話を通して、「一緒に考えていく」というスタンスが大切に考えています。必要に応じて、ケース会議を開催しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		活動予定表を月毎に事前に作成配布しています。子ども達の見通しや、期待感を大切にしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	台風、感染症等の緊急時の対応のお知らせを随時配布しています。防災訓練の実施報告も行っています。今後もマニュアルや取り組みの周知改善に取り組んで参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、	○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者から、医師の指導のもと適切な指示を受けている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		定期的にヒヤリハットの事案を共有している。